

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 |
|---|---|---|
| <p>1. 若者の県内就職の促進</p> <p>人口減少問題が日本全体の課題となる中、島根においても地域の将来を担う人材の育成は重要であり、教育に寄せられる期待はとて大きなものとなっています。島根の子どもたちが、身近な地域に対する愛着や誇りを持ち、確かな学力と豊かな心を育み、夢や希望に向かって挑戦できるよう、学校と地域が協働して子どもたちを育てていく必要があります。</p> <p>県では、これまで、学校と地域が連携・協働した教育活動に取り組み、その結果、将来自分が住んでいる地域や島根のために役に立ちたいという思いの醸成にもつながっています。引き続き、家庭、住民だけでなく地元企業、大学等も連携・協働しながら、県内全域において島根らしい魅力ある教育を行うことで、将来の島根を支える人づくりを進めていく必要があります。</p> <p>また、人口減少や核家族化、生活スタイルの変化などに伴い地域のつながりが希薄化していく中、持続可能な地域づくりに向けて地域住民が主体となり地域課題を解決しようとする気運が高まりつつあります。地域の担い手の一人であることを住民自身が実感でき、地域に貢献しようとする意欲や地域を愛する気持ちを地域づくりに生かすことができ、人々が互いに支え合う社会を実現することが求められます。</p> <p>地域課題について住民自身が理解を深め、その解決に向け主体的に実践しやすい環境を整えるために、地域を担う人づくりの拠点となる公民館等の機能の強化や活動の充実をはじめ、学びや活動を支援する人材の育成や、地域と高等教育機関等の連携の強化などが必要です。</p> <p>若者の進学・就職による転出が転入を上回っていることが、島根県の人口流出の主な原因となっており、県外に進学した多くの学生が県外での就職を選択する状況にあります。これまでの取組により、県内の高校生や大学生のほか、県外の大学に進学した学生の県内就職率については、少しずつ上昇してきました。</p> <p>こうした流れを加速するために、高校生や県内外に進学した学生に対して、働きやすく、習得した知識・技術を活かし、さらにその能力を高めていける、魅力ある職場が島根にあることを理解してもらうことが重要です。</p> <p>こうしたことから、高校生や県内外に進学した学生をはじめとする若者が、島根で働く魅力や意義について考え、県内企業等への就職意識を高めてもらうための情報や機会を、企業の採用活動の動向も踏まえながら、きめ細かに提供していくことが大切です。</p> | <p>(1) 学校と地域の協働による人づくり</p> <p>①人と人とのふれあいや、つながりによる人づくり</p> <p>子どもたち一人ひとりが家族や地域の人に愛され、多くの人々とふれあいながら育つことにより、人を思いやり、人と人とのつながりやあたたかさを大切にすることができるよう、家庭や地域と一体となって子どもたちを育てます。</p> <p>②地域資源を活用した特色ある教育の推進</p> <p>身近な「ひと・もの・こと」を本物の教材として学ぶふるさと教育や、地域、県内大学、地元企業等と連携した探究的な学びにより、学ぶ楽しさを知り、学びへの興味・関心が高まる教育を推進します。</p> | <p>ア. 家庭教育支援の推進 〔小学校、中学校、高等学校、特別支援学校〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親としての役割や子どもとの関わり方についての気づきを促す「親学プログラム」等を活用した研修を支援 ・市町村や社会教育施設と連携しながら、親子での参加型行事やボランティア活動、体験活動等のプログラムを展開 <p>イ. 幼児教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な心と体、道徳性・規範意識の芽生え、豊かな感性と表現など「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼児教育施設、保護者、小学校等が共有するため、研修を実施 ・研修会の実施 77回 参加者2,088名 ・島根県幼児教育センターによる市町村担当者・アドバイザー等への助言や各種研修の充実により、市町村の体制整備を支援 <p>ウ. 道徳教育の推進 〔県教育委員会、小学校、中学校〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会を形成していく上で必要となるルールやマナー、規範意識などを育成するため、学校における道徳教育を充実 ・「ふるまい推進員」の派遣による幼児教育施設、小学校における幼児・児童、保護者や保育者等への研修を支援 ・ふるまい推進員を派遣し研修を実施 33回 参加者740名 <p>ア. ふるさと教育の推進 〔県教育委員会、小学校、中学校〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの地域への愛着や、地域への貢献意欲の醸成につながる、ふるさと教育を市町村等と連携して推進 ・確かな学力を実行力へとつなげる授業づくりを推進するため、教職員研修を通してふるさと教育の質を向上 <p>イ. ふるさと活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが公民館等や地域住民に支えられながら地域資源を活用して自発的・主体的に行う活動や、その活動を支える体制・環境づくりを市町村と連携して推進 <p>ウ. 高校における地域資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域等を題材とした探究的な学びに取り組めるよう、市町村、大学、社会教育機関、地元企業等と連携した活動を推進 ・県立高校35校に高校魅力化コンソーシアムを設置 ・県立高校35校に探究学習推進担当者を配置 ・探究学習推進教員やその他希望者に対する研修を計5回実施 ・生徒の自己有用感や更なる学びの意欲を高めるため探究的な学びで得た成果や知見、体験を発表する機会を創出 ・しまね探究フェスタを島根大学で開催 参加者 約400名 ・生徒の進路選択の幅の拡充と地域産業が求める人材の育成を図るため、専門高校等が大学や企業と連携した先駆的で特色ある課題研究などの取組に対して支援 <p>エ. しまね留学の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内生・県外生双方にとって教育効果の高いしまね留学を推進するため、市町村と連携して県外生への情報提供や教育環境を確保 ・県外中学生向けオンライン合同説明会の実施 ・5月 参加者23組 ・11月 参加者13組 ・県内高校をめぐるバスツアー（7月末～8月初旬） ・参加者13組27名 <p>オ. 中高連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校魅力化コンソーシアム等の協働体制を活用しながら、各高校の魅力と特色を明確にし、中学生・保護者、中学校等に対して的確に情報発信 ・小・中学校等でのふるさと教育等を通して身に付けた地域社会等の課題発見・解決する力を多面的・総合的に評価する取組を推進 |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 |
|---------------|--|---|
| | <p>③学校と地域の連携・協働の推進</p> <p>学校運営協議会等、学校と地域が一体となって子どもたちを育む協働体制等による取組等により、子どもたちの将来の選択肢を拡げ、夢や希望の実現を支援します。</p> | <p>ア. 学校と地域の協働体制の整備 〔県教育委員会、高等学校、市町村等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会で議論された目指す子どもの姿や地域の姿が地域学校協働活動で具現化されるよう、地域総がかりで子どもの成長を支える活動を支援 ・高校魅力化コンソーシアムの活動が、各高校や地域の特色を活かした生徒の学びの充実や地域の活性化につながるよう、伴走を通じて支援 ・県立高校コーディネーター人材の交流会の実施 11月 参加者9名 1月 参加者12名 ・学校と地域の連携・協働におけるコーディネート機能の充実を図るため、コーディネーター等の更なる人材育成に向けた研修などを市町村等と連携して実施 ・高校地域協働体制運営研修の実施 7月 参加者28名 12月 参加者26名 <p>イ. 地域全体で子どもを育む体制づくりの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が取り組む地域全体で子どもを育む体制づくりを進めるため、関係団体等によるネットワークの構築、子どもたちの学習活動・体験活動・交流活動や多世代が相互に学び合う機会の創出に対して支援 <p>ウ. 地域と協働した学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができるよう、地域人材を部活動指導員等として県立学校へ配置するとともに、公立中学校に配置する市町村を支援 ・市町村における部活動の地域連携・地域展開に向けた取組を支援 |
| | <p>④高大連携の推進</p> <p>高校生が県内大学の専門的な教育や研究などに触れることにより大学での学びを知り、身近で特別な存在として意識することで大学進学を希望する生徒の進路選択の幅が広がり、結果として県内進学者が増えるよう、大学との連携を進めます。</p> | <p>ア. 県内大学との連携・協働 〔県内大学、高等学校等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内大学との連携協定に基づき、高校と大学における探究的な学びのカリキュラム開発など教育・研究の充実・発展につながる高校と大学との連携・協働を推進 ・高校から大学への学びをつなげるため、高校生に対して大学の特色ある教育研究に触れる機会を提供 ・県内大学の学びや県内大学生の生活に触れる講座の実施 41講座実施 県内高校生251名参加（11月末時点） ・しまね探究フェスタを島根大学で開催 参加者 約400名 ・高校魅力化コンソーシアム等を活用し、高校と大学とが連携・協働した取組を推進 ・へるん入試入学生と高校生の交流プログラム 2校で実施（今後2校実施予定） <p>イ. 課題解決型学習の充実 〔県内大学、高等学校等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根大学、島根県立大学等との連携・協働のもと、探究学習・課題研究に関わる指導方法や教材、評価方法等を開発 ・高等教育機関や経済団体等が持つ高度な知見を高校におけるキャリア教育などに活用 |
| | <p>⑤県内高等教育機関での人づくり</p> <p>地域に密着した教育・研究を、地元と一帯となって進めることで、主体的に地域課題の解決に向けて取り組む実践力を備えた人材を育成します。</p> | <p>〔県、県内高等教育機関〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内高等教育機関との連携強化 ・県内定着につながる県内高校生の入学者確保に向け、県内高等教育機関において、入試改革を実施 ・（県立大学） 県内高校への指定校推薦枠の導入（R8入試～） ・県立大学において地域住民と交流しながら実践型教育や地域教育を推進 ・（県立大学） 地域貢献推進奨励金による学生の地域活動支援件数 28件 ・学生と県内企業との交流や長期実践型キャリア教育等の充実 ・（県立大学） 長期実践型キャリア教育におけるこれまでの受入事業所数 12事業所 ・学生のボランティア活動等による社会貢献を推進 ・公開講座や講演会、専門職向けのリカレント講座など、県民への学習機会の提供 ・学生の地域課題解決に向けた取組や地域との共同研究などを推進 <ul style="list-style-type: none"> ・県立大学や県立高等看護学院での看護師等の養成や民間の看護師等養成所の運営支援 ・県立高等看護学院の運営 2カ所 看護師等養成所の運営費等の支援 5カ所 |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 |
|-----------------------------------|---|--|
| (2) 高校生・専修学校生・大学生等の県内就職の促進 | | |
| ① 高校生の県内就職の促進 | 就職を目指す高校生に、島根で働き、暮らすことの魅力を伝えるとともに、県内企業等との接点を持てる多様な機会を提供します。 | <p>ア. 高校生等への情報発信 【県、高等学校等】</p> <p><個別分野の取組例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県に人材確保育成コーディネーターを配置し、高校・特別支援学校で企業ガイダンスや企業見学会等を開催 ・生徒の関心が高まるように地域の企業等との連携を強化し、県内企業でいきいきと働く社会人との交流を通じて、島根で働く魅力の気づきの機会を提供 ・地域ごとに学校、保護者、企業等による相互交流会を開催 1月末時点 東部 23回、参加者数 4,151人 (うち生徒 3,479人、教職員 461人、保護者 211人) 1月末時点 西部 27回、参加者数 2,262人 (うち生徒 2,058人、教職員 43人、保護者 33人) ・高校生・大学生等を対象とした建設産業の企業説明会、小中高生等を対象とした現場見学会等の取組、入職促進を目的とした広報の取組を支援 小学生～高校生を対象とした現場見学会等の開催経費に対し補助金を交付 交付団体数 5団体 建設業界PRのためのテレビCM・WEBサイト・冊子の作成等に要する経費に対し補助金を交付 交付団体数 3団体 |
| ② 県内専修学校の県内就職促進 | 習得した専門知識や技術を活かした就職につながるよう県内企業等との接点を持てる多様な機会を提供します。 | <p>ア. 多様な情報の発信 【県、ふるさと島根定住財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業等への就職を検討する生徒を増やすための企業ガイダンスや就職相談、就職後のフォローアップなどを実施 企業ガイダンス 2月末時点 実施回数 2回、参加人数 337人 ・生徒が県内就職について考えるきっかけを作るために、県内就職の優位性を分かりやすくまとめたパンフレット等を作成 ・生徒が県内企業の情報等を手軽に入手できるようSNSを活用した情報提供ツール「しまね登録」を運用 <p>イ. 生徒が県内企業を知る機会の創出 【県、ふるさと島根定住財団、専修学校等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の県内企業への理解を促進するために、学生と企業等の交流会や企業見学ツアー等を実施 専修学校と連携した学内で行う企業交流会 実施回数 1回、参加人数 39人 ・全国的な就職活動の早期化を考慮し、就職活動開始前の早期から生徒と企業が交流するなどの取組を実施 企業交流会を開催 1月末時点の実施回数 2回、 参加企業数 69社、参加学生数 86人 <p>ウ. インターンシップ・仕事体験等の促進 【県、ふるさと島根定住財団、専修学校等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の魅力を知ってもらうため、インターンシップ・仕事体験を実施する企業情報の発信により、生徒のインターンシップ・仕事体験の参加を促進 ふるさと島根定住財団による実施、専修学校、大学生等含む(12月末時点) ①しまね学生インターンシップ 受入企業 22社 申込学生 97名 ②しまね短期仕事体験 募集した企業 257社 申込学生 291名 ③しまね1Day仕事体験 申込企業 157社 申込学生 118名 ・生徒の参加を促進するため、県内企業等へのインターンシップ等に要する生徒の経費負担を軽減(件数は専修学校、大学生等含む) ①しまね就職活動等応援助成金(ふるさと島根定住財団) R7から対象学年を全学年に拡大、上限額を9万円に拡充した 助成件数(12月末時点) 547件 ②大学生等IT技能就職促進支援金(島根県中小企業団体中央会) 助成件数(12月末時点) 96件 <p>エ. 修学支援等による県内就職の促進 【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士・保育士養成施設の学生に修学資金等の貸付を行うことにより県内施設への就職を支援 保育士修学資金等貸付事業 新規貸付58名 ・自宅からの通学が難しい石見・隠岐地域等の出身者が県内の保育士養成施設に進学する際に家賃等を貸与し、県内進学・地元就職を支援 介護福祉士修学資金等貸付事業 新規貸付19名 保育士修学資金(家賃)貸付事業 新規貸付21名 |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 |
|---------------|--|--|
| | <p>③大学生等の県内就職の促進</p> <p>[県内大学等] 大学、企業、県等で設立した「しまね産学官人材育成コンソーシアム」を中心に、関係機関が連携し、学生が低学年次から県内企業等との接点を持てる多様な機会を提供します。</p> <p>[県外大学・県外専修学校等] 県の山陽・関西圏・首都圏における県外事務所を拠点に県外大学等との関係を強化します。 また、ふるさと島根定住財団等と連携して島根県出身学生が低学年次から県内企業等への理解を深めることができる機会を提供します。</p> | <p>ア. 多様な情報の発信 [県、ふるさと島根定住財団]</p> <p>・島根県から進学している大学生等が多い近畿・山陽地方、四国地方の一部などにおいて、学生就職アドバイザーが県外大学と連携して学生からの個別相談や企業交流会などの取組を実施 <u>愛媛県に学生就職アドバイザーの拠点を開設</u> <u>新たに愛媛県内の大学1校と就職支援協定を締結し、学内でアドバイザーと学生との交流会を2回実施</u> ・進学や就職で多くの県出身の若者が集積する首都圏からの県内就職を促進するため、移住支援コーディネーターによる相談対応やセミナー等を実施 ・県内企業等への就職を検討する大学生等を増やすための企業ガイダンスや就職相談、就職後のフォローアップなどを実施 <u>企業ガイダンス 実施回数 2回、参加人数 337人</u> ・大学生等が県内就職について考えるきっかけを作るために、県内就職の優位性を分かりやすくまとめたパンフレット等を作成 ・大学生等が県内企業の情報等を手軽に入手できるようにSNSを活用した情報提供ツール「しまね登録」を運用 ・大手就活サイト内への島根県ポータルページの開設などにより、全国の大学生等へ情報を発信 <u>Webセミナーの開催 実施回数 1回、参加学生数 28人</u></p> |
| | | <p>イ. 学生が県内企業を知る機会の創出 [県、ふるさと島根定住財団、大学等]</p> <p>・島根大学、島根県立大学、松江高専の学生が県内企業への理解を深めるために、大学等と連携した学生と企業等の交流会や企業見学ツアー等を実施 <u>県内大学等と連携した学内で行う企業交流会</u> <u>1月末時点の実施回数 8回、参加人数 402人</u> <u>県内大学等と連携した企業見学バスツアー</u> <u>実施回数 7回、参加人数 133人</u> ・県内大学と企業、県等で設置するコンソーシアムにより、島根大学、島根県立大学において、学生と企業の交流会や地域の企業等と連携した教育プログラムを実施 <u>企業交流会を開催 実施回数 1回、</u> <u>参加企業数 124社、参加学生数 774人</u> ・全国的な就職活動の早期化を考慮し、低学年次の大学生等を対象とした企業交流会などの取組を実施 <u>企業交流会を開催 1月末時点の実施回数 2回、</u> <u>参加企業数 69社、参加学生数 86人</u></p> |
| | | <p>ウ. インターンシップ・仕事体験等の促進 [県、ふるさと島根定住財団、大学等]</p> <p>・県内企業の魅力を知ってもらうため、インターンシップ・仕事体験を実施する企業情報の発信により、生徒のインターンシップ・仕事体験の参加を促進 ふるさと島根定住財団による実施、専修学校、大学生等含む（12月末時点） ①しまね学生インターンシップ 受入企業 22社 申込学生 97名 ②しまね短期仕事体験 募集した企業 257社 申込学生 291名 ③しまね1Day仕事体験 申込企業 157社 申込学生 118社 ・生徒の参加を促進するため、県内企業等へのインターンシップ等に要する生徒の経費負担を軽減（件数は専修学校、大学生等含む） ①しまね就職活動等応援補助金（ふるさと島根定住財団） R7から対象学年を全学年に拡大、上限額を9万円に拡充した 助成件数（12月末時点） 547件 ②大学生等IT技能就職促進支援金（島根県中小企業団体中央会） 助成件数（12月末時点） 96件</p> |
| | | <p>エ. 大学等と県内企業の交流拡大 [県]</p> <p>・全国の大学等に対して県内企業の情報を確実に伝えるため、全国の大学等の教職員と県内企業の交流会を開催 <u>参加大学数 35校、参加企業数 138社</u></p> |
| | | <p>オ. 県内への就職活動の負担軽減 [県]</p> <p>・県内企業等への就職活動を促進するため、県内企業等への就職活動にかかる経費負担を軽減（件数は専修学校、大学生等含む） ①しまね就職活動等応援補助金（ふるさと島根定住財団） R7から対象学年を全学年に拡大、上限額を9万円に拡充した 助成件数（12月末時点） 547件 ②大学生等IT技能就職促進支援金（島根県中小企業団体中央会） 助成件数（12月末時点） 96件</p> |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 |
|---------------------|------------|---|--|
| | | カ. 修学支援等による県内就職の促進 【県】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外の保育士養成施設の学生に対し、県内の保育施設で保育実習等を行う際の旅費の支援や、県内保育施設で勤務する職員との就職相談会を開催し、県内就職を促進 <ul style="list-style-type: none"> 保育実習等旅費支援事業 25件（令和7年11月まで） 県外就職相談会 16回（令和8年2月実施予定、県外事務所分含む） ・ 介護福祉士・保育士養成施設の学生に修学資金等の貸付を行うことにより、県内施設への就職を支援 <ul style="list-style-type: none"> 保育士修学資金等貸付事業 新規貸付58名 ・ 自宅からの通学が難しい石見・隠岐地域等の出身者が県内の保育士養成施設に進学する際に家賃等を貸与し、県内進学・地元就職を支援 <ul style="list-style-type: none"> 保育士修学資金（家賃）貸付事業 新規貸付21名 ・ 県外看護学生のUIターン促進や、過疎地域・離島の医療機関での勤務を促進することを目的とした奨学金貸与制度による県内就業の促進 <ul style="list-style-type: none"> 島根「ふるさと」看護奨学金 新規貸与 46人 准看護師養成所学生向け奨学金制度の創設 |
| | ④保護者への情報発信 | 県内高校、県内大学等、県外大学等、私立専修学校の学生の保護者に対し、県内企業等への理解を促進するための情報発信を行います。 | ア. 多様な手法による情報の発信 【県】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の就職決定に影響を及ぼす保護者に向け、就職活動の動向を伝えるセミナー等の開催や、保護者向けのサイトを活用した情報発信などにより県内企業の魅力を発信 <ul style="list-style-type: none"> 定住財団、山陰中央新報社、企業が連携し「島根で就職した先輩のホンネ」を紹介 12月末時点の掲載数 10回（30人） 保護者向け就活応援サイトをオープン 保護者向けセミナーを開催 実施回数 1回、参加者数 83人 |
| （3）企業の採用力の強化 | | | |
| | ①企業の採用力の強化 | 県内企業が高校生や県内外に進学した学生等から選ばれるよう、魅力ある企業情報の発信やインターンシップ等の積極的な活用などを支援します | ア. 企業が取り組む採用活動への支援 【県】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の採用力強化のため、採用活動の基本から実際の運用まで実践的に学ぶセミナーを開催 <ul style="list-style-type: none"> 「採用力」強化のための企業支援連続セミナー オープンセミナー 参加企業数 35社 連続セミナー 参加企業数 17社 ・ 企業に専門家を派遣し、採用に関する課題の明確化と助言を実施 <ul style="list-style-type: none"> 派遣企業数 34社（2月末現在） ・ 企業が取り組む若者を惹きつける職場環境と情報発信の改善を支援 <ul style="list-style-type: none"> 新卒採用プランディング支援補助金 補助件数 31社 ・ 企業がジョブカフェしまねのサイトで大学生等にとって魅力ある最新の採用情報を発信することができるよう支援 イ. インターンシップ・仕事体験実施の支援 【県】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業の魅力を知ってもらうため、インターンシップ・仕事体験を実施する企業情報の発信により、大学生等のインターンシップ・仕事体験の参加を促進 ・ インターンシップ・仕事体験を採用活動につなげるセミナーを実施 ・ 企業が取り組むインターンシップ・仕事体験プログラム等の改善を支援 |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 |
|---|--|---|
| <p>2. 多様な就業の支援</p> <p>生産年齢人口が減少傾向にある中、有効求人倍率は全国平均を上回る水準で推移しており、県内企業等では人材を確保することが経営上の重要な課題となっています。県内企業等が求める人材を確保するためには、習得した知識・技術を活かし、さらにその能力を高めていける、働きやすく、働きがいのある職場が島根にあることを、若者をはじめとする県内外の幅広い人材に理解してもらうことが重要です。こうした中で、様々な事情で希望どおりの働き方ができていない女性のほか、高齢者、障がい者など多様な人材が個々の能力を発揮できるよう、一人ひとりの事情に応じた多様な柔軟な働き方が選択できる職場を増やし、本人の希望に添った就労を促進していくことが必要です。このほか、不本意ながら不安定な仕事に就いている方や無業の状態にある人など、様々な課題に直面している方に対して、継続的に支援していくことも重要です。</p> <p>さらに、全国の専門的な人材を即戦力として活用していくことに加え、企業の人手不足などを背景として今後も増加が見込まれる外国人が、適正に雇用され、働き続けられる環境づくりが必要です。また、令和6年10月に「フリーランスとして安心して働ける環境を整備するためのガイドライン」が改定され、個人として業務委託を受ける特定受託事業者と企業などの発注事業者の間の取引適正化、就業環境の整備を図ることも求められています。</p> <p>これまで、Uターン・Iターン希望者等に対して、仕事や住まい、生活等に関する情報提供から、相談や無料職業紹介、農林水産業などの産業体験や地元との交流、そして、実際の受入れと、その後の地域への定着までを各段階に応じてサポートしてきたことにより、県内への移住・定住の促進につながっています。この流れが一層大きく強いものとなるよう、こうした各段階に応じた支援や、Uターン希望者とIターン希望者、年代や性別などそれぞれの特性に応じた支援を、県や市町村、ふるさと島根定住財団などの関係機関が連携し、きめ細かく行っていくことが必要です。</p> | <p>(1) 女性の就業支援</p> <p>①女性の多様な働き方の支援</p> <p>女性一人ひとりが、ライフステージに応じて個性や能力を発揮しながら、本人の希望に添った就業や転職を実現できるよう支援します。</p> | <p>ア. 女性の多様な働き方の支援【県】</p> <p><個別分野の取組例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が自らの能力や経験などを活かして、多様な働き方ができるよう、レディース仕事センターにおいて、就職相談、無料職業紹介及び職場体験事業などを実施し、女性の就労を支援 <ul style="list-style-type: none"> 求職者数 405名 求人数 1,145名 就職者数 266名 相談件数 2,488件 ※いずれもR8年1月末時点 ・建設産業への女性の入職促進のための情報発信等を支援 <ul style="list-style-type: none"> 女性技術者等による団体の活動経費に対し補助金を交付 交付団体数 1団体 |
| | <p>(2) 高齢者、障がい者、若年無業者等の就業支援</p> <p>①高齢者、障がい者、若年無業者等の就業支援</p> <p>高齢者、障がい者などが、それぞれの個性や多様性を尊重され経験や能力を活かし、県内企業等で活躍できるようきめ細かな支援を行います。</p> | <p>ア. 高齢者の地域での活躍促進【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年齢者が豊富な経験や知識を活かして、県内企業等で活躍できるよう、ミドル・シニア仕事センターにおいて、就職相談、無料職業紹介及びセミナーなどを実施し、中高年齢者の就労を支援【多様】 <ul style="list-style-type: none"> 求職者数 305名 (R8.1月末時点) 求人数 1,145名 (R8.1月末時点) 就職者数 198名 (R8.1月末時点) 相談件数 2,011件 (R8.1月末時点) ・シルバー人材センターの活動支援を通じて、地域での高齢者の活躍を促進【多様】 <ul style="list-style-type: none"> 会員登録者数 4,466名 (R7.12月末時点) 派遣事業の受注件数 1,729件 (R7.12月末時点) |
| | | <p>イ. 障がい者が活躍できる就労の促進【高等技術校、特別支援学校、労働局、県、県教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用を促進するため、高等技術校で行う訓練等や民間企業等への委託により職業能力の開発と就職を支援【産人】 <ul style="list-style-type: none"> [施設内訓練] 東部高等技術校 介護サービス科 3名 [委託訓練] 委託訓練24名、総合実務科 8名 (R7.12月末時点) ・障がい者雇用に関するパンフレットの作成やフォーラムの開催により、県内企業等における障がい者雇用の理解を促進【多様】 ・就業機会拡大のため、農福連携の取組などにより、幅広い産業での障がい者の活躍を促進【障がい】 ・障害者就業・生活支援センターにおいて就労移行を支援【H23～】 <ul style="list-style-type: none"> 生活支援員の配置 7名 障がい者雇用促進支援員の配置 10名 仕事と生活が両立できるよう休日等の余暇活動を支援 ・特別支援学校高等部卒業生の一般就労を促進するため、労働・福祉等の関係機関と連携して進路指導、職場開拓、職場実習等の就業支援を充実【特支】 <p>ウ. 若年無業者等に対する就業支援【労働局、県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域若者サポートステーションを設置し、若年・中高年世代無業者等に対する寄り添い型の支援により、就業を促進【多様】 <ul style="list-style-type: none"> 支援実人数 1,415名 (R7.12月末時点) 就職者数 110名 (R7.12月末時点) ・若年・中高年世代未就業者等の就労意識の向上を図るとともに、就労・定着に繋げるため、企業等での就労体験（短期・長期）の機会を提供【多様】 <ul style="list-style-type: none"> 就労体験者数 短期 18名 (R7.12月末時点) 長期 33名 (R7.12月末時点) ・複雑化する社会の変化に対応できず、ひきこもりや不登校など様々な因子を抱え、円滑な社会生活が営めないでいる子ども若者に対し、自立への意欲を深め、次代の島根を支える人材へと成長させるため、市町村が実施する取組を支援【青少】 <ul style="list-style-type: none"> 補助件数 7市町 ・就職氷河期世代を含めた中高年世代の就業支援を進めるため、国と連携し取組を推進【多様】 |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 |
|---|--|--|
| | <p>(3) 社会人のU I ターン人材の確保や専門人材・外国人材の活用</p> <p>①Uターン・Iターンの促進、専門人材の活用支援</p> <p>Uターン・Iターン希望者等に対しては、県内の情報に接する機会や地域・企業と触れ合う機会を創出し、個々の希望に応じた丁寧できめ細かな相談対応などを充実させます。企業の経営課題や新たな事業展開に必要な専門人材の活用を支援します。</p> <p>②外国人を雇用する事業者等への支援</p> <p>外国人を雇用する事業者等に対して必要な情報提供を行うとともに、外国人が働き続けられる環境づくりを支援します。</p> | <p>ア. Uターン・Iターンの促進、専門人材の活用支援 〔ふるさと島根定住財団・しまね産業振興財団・県〕</p> <p>＜個別分野の取組例＞</p> <p>イ. 出向・移籍等支援事業 〔産業雇用安定センター〕</p> <p>ア. 外国人を雇用する事業者等への支援 〔しまね国際センター・県〕</p> <p>＜個別分野の取組例＞</p> <p>〔Uターン〕【しま暮ら】 ・県内出身者の方に、県内の情報に接する機会や地域・企業と触れ合う機会を創出し、Uターンを希望する方には、個々のニーズに応じた丁寧できめ細かな相談対応などを充実させる。特に山陽・関西圏・首都圏において、県出身の若者のUターン促進の取組を強化 〔Iターン〕【しま暮ら】 ・県外出身者の方に、島根の暮らしやすさに関する都市部での情報発信を強化するとともに、相談対応や県内地域の体験機会の提供、定着支援など各段階に応じて適切にサポートする体制を整え、Iターンの促進と移住後の定着を図る。特に首都圏・関西圏における、Iターン促進の取組を強化 〔専門人材〕【多様】 ・県内企業の潜在成長力を掘り起こし、「攻めの経営」への転換を実現するため、都市部等の専門人材をU I Jターンや副業・兼業等により確保する企業等の取組を支援</p> <p>・「しまね保育士人材バンク」の登録者に対し、就職ガイダンス等の情報発信を行い、保育施設への就職・復職を支援 就職者数 4名（令和8年1月まで）</p> <p>・キャリア人材バンクによるハイキャリア人材や高齢者等のマッチングを支援 ・キャリア人材の在籍出向を活用した中小企業の支援</p> <p>・県内企業等における外国人材の適正な雇用と職場定着を進め、外国人材の受入の仕組みなどの情報を提供するとともに、外国人材特有の事情に配慮した労働環境の改善やコミュニケーション促進等の取組を支援【多様】 「外国人材雇用情報提供窓口」相談件数 51件（R7.11月末時点） 外国人材定着支援補助金 3件（R8.1月末時点） 企業向け外国人材のための日本語学習支援【多様】 ・公益財団法人しまね国際センターと連携し、地域訪問型・企業訪問型日本語教室を開催し、外国人労働者やその家族の日本語習得を支援【文国】 地域訪問型日本語教室 学習者数 56名 企業訪問型日本語教室 学習者数 43名（8社） ・多言語によるワンストップ型相談窓口を公益財団法人しまね国際センターに設置し、雇用・労働、社会保険など様々な困りごとに対応【文国】</p> <p>・外国人留学生への修学資金の貸与や、外国人介護人材を受け入れる施設が行う受入環境整備の取組を支援 介護福祉士修学資金等貸付事業（留学生分） 新規貸付31名 外国人介護人材受入施設環境整備事業 補助見込件数6件</p> |
| <p>3. 魅力ある働きやすい職場づくり</p> <p>県内に就職した高校や大学等の新規卒業者が3年以内に離職する割合は、3割を超える水準で推移しています。こうした若者等の定着を図り、島根の産業を担う人材として育成するためには、生活と仕事を両立できる誰もが働きやすい職場づくり、知識や技術等を高めることができる環境づくりを進めることが重要です。経営者や管理職は、働きやすく魅力ある職場づくりに積極的に取り組み、社員のやる気を引き出し、人材育成を進めることが必要です。</p> | <p>(1) 魅力ある職場環境の整備と人材の定着支援</p> <p>①魅力ある職場環境の整備と人材の定着支援</p> <p>働く人の視点に立った魅力ある職場づくりに向けた企業等の取組に対する支援等を通して、多様な人材が能力を十分に発揮し、自身のライフスタイルを大切にしながらいきいきと働き続けることができる職場環境の整備を進めます。また、若年者においては、価値観が多様化していることに対応しながら、安易な離職を防ぎ、しっかりとキャリア形成ができるよう支援を行います。</p> | <p>ア. 魅力ある職場づくりに取り組む企業等への支援 〔県〕</p> <p>・働きやすい職場環境づくりを促進するため、企業等にアドバイザーを派遣【女活】 アドバイザー派遣による一般事業主行動計画策定件数 12件（R7年12月末時点）</p> <p>・多様な人材が働きやすく活躍できる職場環境を整備するため、コミュニケーションの活性化や労働能率の向上などの就労環境の改善に取り組む企業を支援【いきいきと女活】 いきいき職場づくり支援補助金 31件（R8.1月末時点） 第12回「しまねいきいき雇用賞」（10社を表彰） 女性活躍のための働きやすい職場環境整備支援事業費補助金 交付決定企業数 24社</p> <p>・「イクボス」の推進や「イクボスネットワーク」を構築するなど経営者や管理職の意識改革及び行動改革を図ることにより、仕事と家庭が両立できる職場づくりを推進【女活】 イクボスセミナー意識編 1会場 参加者101名 行動編 6会場 参加者 83名 企業視察付きセミナー 2会場 参加者 26名 しまねイクボスネットワーク加入企業数 102社（R8年1月末時点）</p> |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 |
|---------------|-----------|---|
| | | <p><個別分野の取組例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術者の時間外労働削減を目的とした施工管理に関わる業務の社内分業化（バックオフィス化）の取組を促進 社内分業化の取組を促進するためのセミナー等 バックオフィス業務説明会 参加企業数 52社 バックオフィス経営者セミナー 参加企業数 15社 ・求職者にとって、介護職場の見える化を進め、事業所選択のきっかけとなる「しまね福祉・介護人材育成宣言事業所制度」の普及を進める。 しまね福祉・介護人材育成宣言事業所数 46団体（R8.2.5時点） ・保育士等の働きやすい職場づくりに関する好事例の情報提供や、保育施設の管理職等を対象とした働き方改革に関するセミナーを実施 鳥根県保育士等の働きやすい職場づくりセミナー 松江会場 参加者数 12名 益田会場 参加者数 9名 大田会場 参加者数 7名 ・保育士資格や幼稚園教諭免許状取得のための受講経費の支援や、保育補助者の雇上に伴う施設側の負担の軽減 保育士資格等取得支援事業 保育補助者雇上強化事業 <p>イ. 人材育成等の支援【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職を控えた高校生等が社会人として円滑なスタートができるよう、内定者を対象とした研修を実施【いきいき】 内定者研修 16回 ・研修等が十分に実施できない企業等の人材育成や職場定着を進めていくため、若手社員等を対象とした研修を実施【いきいきと女活】 若手社員研修 4回 新入社員研修 10回 【働く女性のためのスキルアップセミナー】 ステップアップ編 3会場 参加者84名 スキルアップ編 2会場 参加者50名 レベルアップ編 2会場 参加者37名 ネットワークづくり交流会、育休復帰等に関するセミナー 3月実施 ・企業等が社員のキャリアアップを図るために、計画的に実施する人材育成研修や専門資格取得の取組を支援【いきいき】 <p>ウ. 多様な働き方を選択、実現できる職場づくりを支援【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の出産や育児による離職を減らすため、復職支援に取り組む中小・小規模事業者等を支援【女活】 職場復帰奨励金申請件数 334件（R8年1月末時点） ・子育てや介護と両立しやすい柔軟な働き方ができるよう、時間単位の有給休暇制度や短時間勤務制度の導入に取り組む中小・小規模事業者等を支援【女活】 子育て・介護と両立しやすい職場づくり奨励金支給件数 72件（R8年1月末時点） ・働きやすく仕事と育児や介護などが両立できるよう、休憩室の整備やテレワークの導入、職場研修などに取り組む事業者を支援【女活】 女性活躍のための働きやすい職場環境整備支援事業費補助金 交付決定企業数 24社（再掲） ・働きやすい職場づくりを県内に広めていくため、優れた取組を行う企業等を知事表彰し、その取組事例を広く周知【いきいきと女活】 第12回「しまねいきいき雇用賞」（10社を表彰） プレミアムこころカンパニー企業数 10社 しまね女性の活躍応援企業表彰企業数 4社 <p>エ. 労働者への相談対応等【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者等が抱える職場における課題解決に資するよう、相談窓口を設置【労福】 ・高校生等が円滑な職業生活がスタートできるよう、就職等を前に社会の仕組みや働く上で知っておきたい関係法令などを理解する取組を促進【いきいき】 作成部数 9,200部 配布先 県内高等学校・特別支援学校、高専、関係機関 |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 | |
|---------------|--------------------------|---|--|---|
| | (2) 在職者の新たな学びとスキルアップへの支援 | | | |
| | ①在職者の新たな学びとスキルアップへの支援 | 企業等の生産性向上と競争力強化等につながる先進的な知識・技術・技能の習得など、在職者等のスキルアップ等に取り組みます。 | ア. 研修等機会の充実 〔高等技術校・ポリテクセンター・ポリテクカレッジ〕 | <ul style="list-style-type: none"> ・職業能力開発施設である高等技術校、ポリテクセンター、ポリテクカレッジにおいて、企業の能力開発ニーズに対応したきめ細かな在職者向け(技能系、IT 利活用)訓練やセミナーを実施 ・自社のみでは人材育成が困難な中小企業が、高等技術校、またはその他の研修施設等で、社員の技術研修を行う際に、高等技術校の指導員や外部講師により支援 ・中小企業における人材教育等に資するため、公的機関が有する設備等を貸出 ・ポリテクセンター・ポリテクカレッジにおいて、生産性向上人材育成支援センターを開設し、企業の人材育成と労働者の職業能力開発を通じて中小企業の実業生産性向上を支援 <p>〔高等技術校〕 R7.12月末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業人スキルアップセミナー 14コース (93名) ・実践型人材養成システムに適合したOFF-JT訓練 3コース (44名) ・設備貸出〔東部校〕70回、〔西部校〕8回 <p>〔ポリテクセンター・ポリテクカレッジ〕 R7.12月末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能力開発セミナー 訓練延べ人員 4,087人 ・生産性向上支援訓練 60コース 受講者653人 (定員660名) ・施設等の貸出件数20件 (ポリテクセンター)、32件 (カレッジ) <ul style="list-style-type: none"> ・在職技術者の能力向上を図るため、認定職業訓練施設の活動を支援 令和7年度は認定を受けた6事業主が電気工事、自動車整備、機械加工などの職業訓練を実施 |
| | | | イ. 技能の振興 〔職業能力開発協会〕 | <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業等の現場を支える技能者一人ひとりの技能レベルの向上を図るため、技能検定を推進するとともに、技能検定による資格取得者を確保 技能検定受験申請者数 353名、合格者数 200名 (R7前期試験のみ) ・技能者の社会的地位の向上を図り、技能を尊重する気運を醸成するため、優れた技能者等を顕彰 (卓越技能者・優秀専門技能者) 卓越技能者の県知事表彰 13名 技能検定事業功労者 6名 技能検定事業優良事業所 1事業所 技能検定試験成績優秀者 12名 優秀専門技能者 29名 ・技能五輪全国大会への参加を支援 10/17~10/20 (愛知県)へ参加 6名 (機械組立、配管、フラワー装飾) ・貴重な技能を継承していくため、卓越した技能者による訓練機会を提供し、技能者の育成を促進 ものづくりマイスターによる実技指導の実施 1,320人 ものづくり体験教室等 (公民館、小中学校等) 2,230人 |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---------|------|-----|---------|--|--|--------|-----|---------|--|--|---------|----|---------|--|--|------------|----|---------|--|--|----------|-----|---------|--|--|-----|----|---------|--|--|-----|----|---------|--|--|---------|----|---------|------|-------|---------|----|---------|--|--|-----|----|---------|--|--|----------|----|---------|--|--|------------|----|---------|--|--|-------|----|---------|------|-------|----|---------|--|---------|-----|---------|--|-------|-----|---------|------|
| <p>4. 地域の産業を支える人材の育成</p> <p>少子高齢化等に伴い生産年齢人口が減少し、県内の幅広い産業において人手不足が深刻化する中、地域産業が求める人材を確保し、生産性の向上に取り組むためには、デジタル人材の育成や、労使一体となった人材開発、十分な能力開発の機会がなかった人々に対する学び直しの機会を提供することも必要です。</p> <p>さらに、連続と受け継がれてきた島根に息づく伝統技能や優れた熟練の技を継承する人材の育成と、ものづくりの素晴らしさに触れ、技能に対する関心を高めることなども必要です。</p> | <p>(1) 若者の職業能力開発等（キャリア教育支援）</p> <p>①若者の職業能力開発等</p> <p>地域産業で求められる知識・技術・技能などを有する人材を高等技術校のほか、民間教育機関や企業等との連携により育成します。また、必要性が高まっているデジタルスキルを習得する機会を提供します。</p> | <p>ア. 教育機関でのキャリア教育・人材育成（再掲） 1若者の県内就職の促進、(1)学校と地域の協働による人づくりに記載のとおり</p> <p>イ. 職業能力開発施設における職業訓練〔高等技術校・ポリテクカレッジ〕</p> <p>・ 東部高等技術校及び西部高等技術校における施設内訓練 (ものづくり系) 機械加工・溶接 (web・オフィス系) webデザイン・OAシステム・事務ワーク (コンストラクト系) 住環境・土木・建築・左官 (その他) 美容・自動車工学・介護サービス</p> <p>R7入校生</p> <table border="1"> <tr> <td>[東部校]</td> <td>美容科</td> <td>20名</td> <td>(定員20名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>自動車工学科</td> <td>20名</td> <td>(定員20名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>住環境・土木科</td> <td>8名</td> <td>(定員10名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ものづくり機械加工科</td> <td>5名</td> <td>(定員10名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>WEBデザイン科</td> <td>10名</td> <td>(定員10名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築科</td> <td>6名</td> <td>(定員15名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官科</td> <td>5名</td> <td>(定員10名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>介護サービス科</td> <td>3名</td> <td>(定員10名)</td> <td>計77名</td> </tr> <tr> <td>[西部校]</td> <td>OAシステム科</td> <td>7名</td> <td>(定員10名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築科</td> <td>3名</td> <td>(定員10名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>機械加工・溶接科</td> <td>2名</td> <td>(定員10名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務ワーク科(前期)</td> <td>8名</td> <td>(定員10名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>“(後期)</td> <td>1名</td> <td>(定員10名)</td> <td>計21名</td> </tr> </table> <p>・ ポリテクカレッジ島根における施設内訓練 生産技術・電子情報技術・住居環境</p> <p>R7入校生</p> <table border="1"> <tr> <td>生産技術科</td> <td>7名</td> <td>(定員15名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子情報技術科</td> <td>15名</td> <td>(定員20名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>住居環境科</td> <td>13名</td> <td>(定員20名)</td> <td>計35名</td> </tr> </table> <p>・ IT・デジタル人材の育成を促進するため、西部高等技術校の機能を活かした職業能力開発短期大学の施設整備やカリキュラム策定などの具体的な検討を実施</p> <p>ウ. 高等技術校等を活用した職業・技術教育の実施〔高等技術校・ポリテクカレッジ〕</p> <p>・ 高等技術校が有する訓練機器を活用したものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を行うことにより、ものづくりや技術への関心を高め、職業意識を醸成</p> <p>・ 高校の生徒に対して、高等技術校の設備や指導員を活用して、実践的な授業や実習を行うことにより、ものづくり技能の重要性、面白さへの理解促進、職業観等を醸成</p> <p><u>職業訓練指導員講習 派遣講師数 22名、受講者64名 (R7.12月末時点)</u> <u>宍道高校ものづくり授業 15回、5名/回 (R7.12月末時点)</u> <u>校内見学会 東部校 6回100名、西部校 19回40名 (R7.12月末時点)</u> <u>オープンキャンパス 3回110名 (R7.12月末時点)</u> <u>3DCAD基礎講座 15社23名 (R7.12月末時点)</u></p> <p>エ. 技能の習得促進〔高等学校等〕</p> <p>・ 就業までの技能習得促進として、学校在学中の技能検定受検を推進 3職種(機械加工、造園、フラワー装飾) 受験者数 26名、合格者数 21名 ※令和7年度前期試験のみ</p> <p>・ 「高校生ものづくりコンテスト」等の競技会への参加促進</p> <p>オ. 次世代の産業人材の育成〔大学等、県〕</p> <p>・ 多様な視点を有する次世代の産業人材を育成するため、県内企業や大学等と連携し、海外留学と県内企業でのインターンシップ等を組み合わせた人材育成プログラムを実施</p> | [東部校] | 美容科 | 20名 | (定員20名) | | | 自動車工学科 | 20名 | (定員20名) | | | 住環境・土木科 | 8名 | (定員10名) | | | ものづくり機械加工科 | 5名 | (定員10名) | | | WEBデザイン科 | 10名 | (定員10名) | | | 建築科 | 6名 | (定員15名) | | | 左官科 | 5名 | (定員10名) | | | 介護サービス科 | 3名 | (定員10名) | 計77名 | [西部校] | OAシステム科 | 7名 | (定員10名) | | | 建築科 | 3名 | (定員10名) | | | 機械加工・溶接科 | 2名 | (定員10名) | | | 事務ワーク科(前期) | 8名 | (定員10名) | | | “(後期) | 1名 | (定員10名) | 計21名 | 生産技術科 | 7名 | (定員15名) | | 電子情報技術科 | 15名 | (定員20名) | | 住居環境科 | 13名 | (定員20名) | 計35名 |
| [東部校] | 美容科 | 20名 | (定員20名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 自動車工学科 | 20名 | (定員20名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 住環境・土木科 | 8名 | (定員10名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ものづくり機械加工科 | 5名 | (定員10名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | WEBデザイン科 | 10名 | (定員10名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 建築科 | 6名 | (定員15名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 左官科 | 5名 | (定員10名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 介護サービス科 | 3名 | (定員10名) | 計77名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| [西部校] | OAシステム科 | 7名 | (定員10名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 建築科 | 3名 | (定員10名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械加工・溶接科 | 2名 | (定員10名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務ワーク科(前期) | 8名 | (定員10名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “(後期) | 1名 | (定員10名) | 計21名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生産技術科 | 7名 | (定員15名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電子情報技術科 | 15名 | (定員20名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 住居環境科 | 13名 | (定員20名) | 計35名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 | |
|---------------|--|--------------------------------------|--|
| | <p>(2) 求職者の職業能力開発を通じた就職促進</p> <p>①求職者の職業能力開発を通じた就職促進</p> <p>求職者の職業能力開発を高等技術校のほか専修学校等との連携により実施し、就職を促進します。</p> | <p>ア. 施設内訓練 【高等技術校、ポリテクセンター】</p> | <p>・高等技術校では、機械加工溶接・事務ワークを主としながら、建築・左官をはじめとする常設科（訓練期間：1年又は2年）で離転職者を受入れ、公共職業訓練を実施</p> <p>[東部校] 建築科6名、左官科5名 [西部校] 機械加工・溶接科2名、事務ワーク科9名、建築科3名</p> <p>・ポリテクセンター島根では、ものづくり系・建物設備系等で概ね半年前後の訓練期間の訓練コースを複数設定し、離転職者を受入れ職業訓練を実施</p> <p>[ポリテクセンター] R7.12月末時点 離転職者訓練を訓練科8科で実施 183名</p> |
| | | <p>イ. 委託訓練 【専修学校等】</p> | <p>・知識等習得コースでは、3カ月を標準訓練期間とし、介護系・事務系などの離転職者向け短期職業訓練を県内外の事業者にて委託して実施</p> <p>・その他、eラーニング学習による訓練、大型自動車一種運転業務従事者を育成する訓練、高齢者向けのスキルアップ訓練など多様なニーズに対応した訓練を実施</p> <p>・また、定住外国人向けにも、一般就労に必要な日本のビジネスマナーやパソコンの技能等を習得するための訓練、および介護現場での就職を目指し必要な日本語力と介護技術を習得するための訓練を実施</p> <p>・長期高度人材育成コースでは、1年以上2年以下の訓練期間で、IT技術者・保育士・美容師・准看護師・介護福祉士・医療事務職等を養成するため、県内専修学校等に委託して離転職者向け職業訓練を実施</p> <p>[短期コース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識等習得コース24コース（PC・介護・医療事務・観光等） 訓練生 237名 ・eラーニングコース 2コース 訓練生27名 ・大型自動車一種運転業務従事者育成コース 1コース 訓練生5名 ・高齢求職者スキルアップ・スキルチェンジコース 1コース 訓練生11名 ・定住外国人向け職業訓練コース 2コース 訓練生22名 <p>[長期コース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期高度人材育成コース13コース（IT・看護・介護・保育等） 訓練生 48名 |
| | <p>(3) 障がい者の職業能力開発</p> <p>①障がい者の職業能力開発を通じた就職促進</p> <p>障がい者の職業能力開発を高等技術校のほか民間教育訓練機関において実施し、就職を促進します。</p> | <p>ア. 施設内訓練 【高等技術校】</p> | <p>・高等技術校では、介護サービス科で障がい者を受入れ、公共職業訓練を実施</p> <p>[東部校] 介護サービス科 3名</p> |
| | | <p>イ. 委託訓練 【民間教育訓練機関】</p> | <p>・知識・技能習得コースでは、民間教育訓練機関において、パソコンスキルなど就職に必要な知識・技能の習得のための集合訓練を実施</p> <p>・実践能力習得コースでは、企業等において、実践的な職業能力の開発・向上のための職業訓練を実施</p> <p>・特別支援学校早期訓練コースでは、特別支援学校に在籍する生徒を対象に企業等において、就職に向けた職業能力の開発・向上のための訓練を実施</p> <p>・総合実務科（西部校）では、就職するために必要な知識・マナーの習得、必要な作業の訓練を実施</p> <p>[西部校] 総合実務科 8名 (R7.12月末時点) [委託訓練] 知識技能習得訓練コース 9名 eラーニングコース 4名 実践能力習得訓練コース 10名 特別支援学校早期訓練コース 1名</p> |

| 基本的な方向【現状と課題】 | 項目【取組の方向】 | | 【取組】 令和7年度事業実施状況 令和8年度事業計画 |
|---------------|------------------------------|--|---|
| | (4) デジタル人材の育成 | | |
| | ① デジタル人材の育成 | 将来を担うIT人材の段階的な育成や、県外IT人材の県内転職の促進などを行います。 | <p>ア. デジタル人材の育成【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向けのプログラミング教室や専門高校、松江高専、島根大学等での実践的な人材育成授業のほか、普通高校での出前講座、文系学生向けのプログラミング講座などをIT企業や教育機関と連携して実施 ・県内高校生や県内外の大学生とのIT企業の交流機会を創出し、県内就職を促進 ・県外からのUITターンを希望するエンジニアに対して、県内IT企業への転職のマッチング支援を実施 ・高度なIT分野を学べる県内専修学校における教育環境の整備を支援 <p>・「デジタル利活用人材」を育成・確保するため、求職者や県内企業の社員向けにデジタルスキルを習得する機会を提供</p> <p>[求職者・離転職者向け] 再就職支援のため「公共職業訓練」としてデジタルスキル習得関連講座を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBデザイン科【東部技術校】10名 ・OAシステム科【西部技術校】7名 ・長期高度人材育成コース【専修学校等に委託して実施】3コース ・eラーニングコース【民間訓練施設に委託して実施】1コース <p>[在職者向け] 県内中小企業のデジタル科を促進するため、eラーニングでのデジタル関連講座の受講にかかる経費を支援し、自社の様々な業務・工程におけるデジタル化の検討・実装の中心的役割を担う人材の育成を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在職者リスクリテラシー支援事業（eラーニング）12社35名 |
| | (5) 地域の伝統や人々の暮らしを支える技能・技術の継承 | | |
| | ① 地域や伝統を支える技能・技術の継承 | ものづくりを体験する機会の提供などにより、若い世代の技能者の育成に取り組みます。 | <p>ア. 島根の職人育成【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な手仕事の次代の担い手を確保するため、優れた職人のもとでの体験就労等の機会を提供（建具・大工・造園・建築板金等） <p>[H30～]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造園 1名 ・板金 1名 ・和裁 4名 ・建具 2名 ・建具（組子細工） 11名 ・大工 1名 ・宮大工 4名 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズの変化などにも対応することができるような後継者の確保・育成に向けて、雇用就業資金の貸付制度や商品開発セミナー等により支援 ○伝統工芸製造に従事しようとする者を雇用する事業主に対し、研修教育を行うための資金を貸付【H14～】 ・令和5年度からの継続1名分を支援 ○売れる商品作り事業 ・伝統工芸品製造事業者 4者参加 <p>イ. 職人技活用促進【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職人技の活用を促進するため、ものづくり体験イベントや有用性の広報により、職人技の魅力を発信 ・「職人チャンネル」の運用 ・ものづくり体験教室 14校、480名、11職種 ・小中学生を対象とした技能振興イベントの開催 東部(10/26) 来場者数 878名、体験者数 1,158名 西部(9/14) 来場者数 219名、体験者数 349名 |